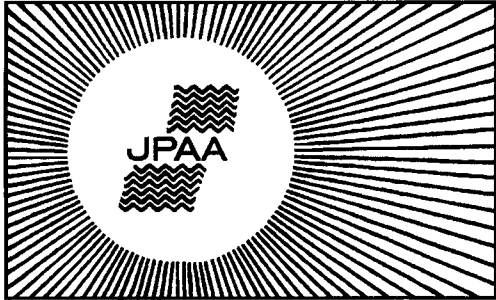




プールアメニティ

第 39 号

発行者
社団法人
日本プールアメニティ施設協会

〒160-0022 新宿区新宿2-6-3
URL <http://www.jpaa.com/>
E-Mail jpaa@sepia.ocn.ne.jp
TEL 03-5366-5703
FAX 03-5366-5629

第28回

通常総会の開催

平成17年11月24日(木)午後3時30分より東京都千代田区霞ヶ関1-1-1法曹会館にて、第28回通常総会を開催した。

会議は定刻に事務局の開会挨拶に始まり、野崎貞彦会長の挨拶、厚生労働省健康局生活衛生課・課長補佐江野英夫殿の来賓挨拶に続いて、末永正夫氏を全会一致で、議長に選出した。

次に定足数の確認を行い、正会員22社に対し委任状を含め、出席数21社により、定款第24条に規定する過半数の定足数を超えたので、総会が成立したことを確認し、引き続き議案の審議に入った。

1. 議案の審議結果
- 第1号議案

議事録署名人の選任について

末永正夫議長、三浪善吾氏、田口正人氏を全会一致で選任した。
- 第2号議案

会員及び役員に関する件

事務局より報告され、全会一致で原案通り承認された。
- 第3号議案

報告事項について

事務局より報告され、審議し、全会一致で原案通り承認された。
- 第4号議案

平成18年度事業計画について

事務局より報告され、審議し、全会一致で原案通り承認された。
- 第5号議案

平成18年度予算計画について

事務局より報告され、審議し、全会一致で原案通り承認された。
- 16時10分に全ての議案を終了し、総会は閉会した。
- 尚、総会終了後出席者による懇談会を実施し、活発な情報交換と旧交を温めた。

第2号議案 会員及び役員の変更について

1. 会員に関する件
- 1.1 退会(4名)(敬称略)

・個人会員 村瀬厚、山本美佐子、金森雅夫、池田信人
- 1.2 入会(2名)(敬称略)

・個人会員 山下智司、坪内秀樹
2. 役員に関する件
- 2.1 理事辞任(3名)(敬称略)

・小川 稔 ミウラ化学装置(株)取締役

・森本康次郎 日本フィルコン(株)取締役

・松浦 稔明 前 全国市長会社会文教委員長
- 2.2 理事就任(3名)(敬称略)

・三浦 紀彦 ミウラ化学装置(株)専務取締役

・市川 實 日本フィルコン(株)事業部部長

・石川 良一 全国市長会社会文教委員長

第3号議案 報告事項について

1. 管理業務
- 厚生労働省の「改善勧告」に基づき経理処理を変更実施した。
2. 事業推進状況
- ・講演会 6月15日、W.プリューフロック氏を講師に迎え、「ドイツにおけるプールの水質基準と施設基準」の講演会を開催した。

・プール衛生管理者講習会 (開催月と受講者数)

第77回東京(5月88名)、第78回大阪(6月95名)

第79回仙台(9月54名)、第80回広島(10月45名)

尚、札幌会場講習会は定員大幅未達の為、中止とした。

第4号議案 平成18年度事業計画について

1. 調査研究事業
- ・プールの衛生基準に関する調査研究を委託事業及び受託事業を含めて実施する。尚、具体的な案件に関しては、今後企画運営委員会にて、検討を行う。
2. 講習会事業
- プール衛生管理者講習会開催日程
- 第83回

平成18年

4月20、21日／沖縄
- 第84回

5月18、19日／東京
- 第85回

6月 8、 9日／大阪
- 第86回

9月14、15日／北海道
- 第87回

9月28、29日／福岡

- 第88回

平成19年

2月15、16日／東京
- 第89回

3月 8、 9日／大阪
- (一部日程が変更される場合があります)
3. メンテナンス講習会事業
- 準備委員会をつくり、講習会開催に向けての教本作成・講師養成等の検討を行う。
4. プール機器規格認定事業
- プール機器規格認定制度の普及活動の強化を行う。
5. 情報提供事業
- ・機関紙「プールアメニティ」 発刊スケジュール年2回
- ・ホームページの「TOPICS!」の随時メンテナンス
6. プール衛生管理基準に関するコンサルティング事業
- 電話・FAX・インターネットでの「相談室」回答他
7. その他
- 情報網の整備強化
- ・協会関係者間の情報網を前年に引き続き整備強化し、情報交換のスピードアップと関係者間の交流拡大を図る。

第5号議案 平成18年度予算計画について

平成18年度予算計画
(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

(単位:千円)

科 目	平成18年度	平成17年度	差 異
I. 収入の部			
1.会費・入会金	3,660	3,720	▲60
2.事業収入	13,837	12,720	1,117
3.雑収入	3	10	▲7
4.繰越金(運用分)	7,781	13,011	▲5,230
収入合計	25,281	29,461	▲4,180
II. 支出の部			
1.管理費	2,800	1,940	860
・人件費	300	300	0
・会議費	200	150	50
・交際費	300	250	50
・旅費交通費	265	200	65
・通信運搬費	90	100	▲10
・消耗什器備品費	25	80	▲55
・水道光熱費	80	80	0
・賃貸料	940	180	760
・経理処理費用	450	450	0
・租税公課	150	150	0
2.事業費	14,730	14,740	▲10
・人件費	2,705	2,700	5
・旅費交通費	2,420	2,500	▲80
・通信運搬費	800	750	50
・消耗什器備品費	225	170	55
・印刷製本費	2,000	2,000	0
・賃貸料	1,220	1,650	▲60
・諸謝金	1,950	1,900	50
・講習会雑費	20	20	0
・雑費	300	300	0
・委員会費	590	250	340
・広報活動費	1,000	1,000	0
・特定支出	1,500	1,500	0
3.事務所購入積立金	5,000	5,000	0
当年度支出合計	22,530	21,680	▲60
当期収支差額	△5,030	△5,230	200
次期繰越金	2,751	7,781	▲5,030

施設紹介

厚生労働大臣認定
運動型健康増進施設

『ペアーレ桐生』

広大な関東平野の北縁、赤木山の麓に人口13万人の新・桐生市があります。「織物のまち」としての歴史は古く、江戸時代には「西の西陣・東の桐生」と云われていました。

『ペアーレ桐生』は、“国民の健康づくり運動施策”の一環として、平成5年10月JR両毛線・桐生駅に近接して建設された、「桐生社会保険健康センター」の愛称です。グレーの壁に二本の白いバンドを

巻きつけた『ペアーレ桐生』は、両毛線の車窓からもはっきりと確認できるようにと、壁に施設名称を書き上げた、特徴ある3階建ての建物です。『ペアーレ』は、全国に43施設あり、それぞれに地域に根ざした活動を実施しています。因みに“Peare (ペアーレ)”とは、フランス語のProgrès (進歩) Education (文化) Athletisme (運動) Répos (休養) の頭文字の組み合わせを語源としています。

センター長
栗原 茂氏

“こころとからだの健康づくり”をめざす『ペアーレ桐生』は、専門の講師を迎え、“93の講座”を準備しています。バリアフリーの、スロープを併設した風除室付き玄関から入り、受付を済ませた利用者は、各階で行われている講座に出席します。それぞれの教室へは、元気な人は階段を登り、足腰が不自由な人でもエレベーターを利用して、容易に行けるようになっています。小学生から中高齢者の、全ての世代の皆さんが利用している各教室からは、明るい声が洩れてきて、“楽しく健康づくりをしている姿”を感じます。

1 「体の健康づくり講座」利用施設

【温水プール】…プール棟は南側別棟にあり、階下に機械室・駐車場を設け、プール室は2階に設置されています。①

長さ15m 幅10m 水深1.0mフラットのFRP製水槽を持ち、「元気はつつスミング・アクアエクササイズ・初心者シルバースミング」等々の講座で活用されています。

“泳げない人”にも、プールに馴染めるような“講座”が数多く用意されています。

【プールろ過】…プール棟1階の機械室にあり、取扱いが簡便な“砂式ろ過”が採用されています。③

【トレーニングジム】…トレーニング機器を置き、血圧測定ができる機能を備え、簡易ベットも準備された部屋です。②④

西側全面からの採光は、温かく利用者を包んでいます。

ここでは「ボデーデザイン・基礎体力づくり・らくらくトレーニング」等々の講座があり、“運動が苦手な人”でもその気になれば、いつでも利用できる施設として開放されています。

【多目的ホール】…三方を鏡に囲まれ、講師の指導が行き届き、受講生も自己の動きを確認できる工夫がされています。⑤

「エアロビクス・太極拳・健康ヨガ・社交ダンス」等々の講座が生まれ、“自分で体を動かすのが好きな人”が多く集まっている“運動フロア”です。

2 「心の健康づくり講座」活用施設

【教養室】…「パソコン・英会話・中国語講座」など、時代に即応した講座が、開催されています。

また「カラオケ・絵手紙・センスアップ」等々は、まさに“こころの健康”を作り上げる講座です。

【和室】…唯一畳敷きの部屋で、「日本舞踊・着物着付け・華道」等々に活用されています。⑥

3 「相談窓口」の設置

【健康相談室】…“生活指導から、心身の健康相談”そして“生活習慣病予防健診者の、事後指導”と、幅広く保健師が対応しています。

【社会保険相談】…健康保険・厚生年金・国民年金制度の、説明や届け出の方法などを、判りやすくアドバイスしています。



『ペアーレ桐生』は“国民の健康づくり運動”の趣旨に則り、各種の「健康づくり・生きがいづくりの教室」を設け、施設の活発な運用を実施しています。

特に《健やかで、心豊かな生活ができる》ための「一次予防を中心とした健康づくり」には、『ペアーレ桐生』の取組み意欲は高く、健康スポーツ医・保健師・健康運動指導士と共に考えた、「6ヶ月単位の特別コース」を設定し、施設利用者に、積極的な参加を呼び掛けています。



《健康づくり6ヵ月の流れ》

健康体力調査票・健診結果表等を提出します。……………4月
(10月)

体力測定(エアロバイク)・目標設定を行います。……………4月
(10月)

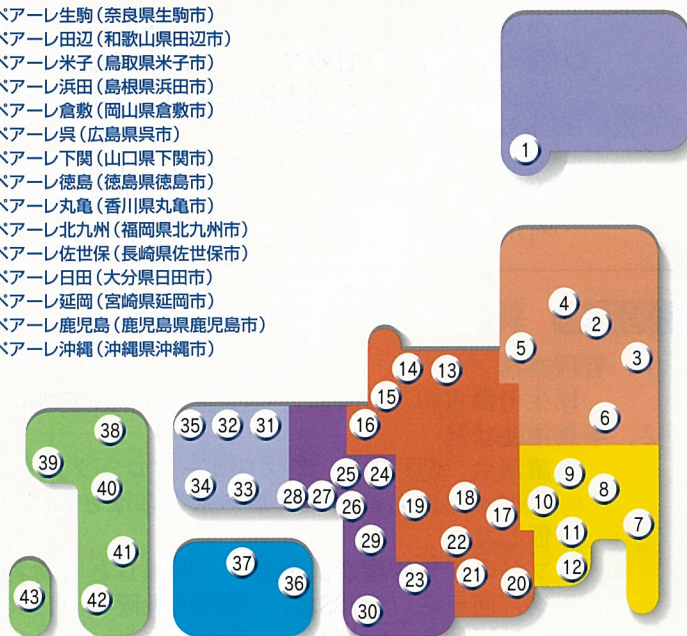
講座の受講
講座受講時、血圧・脈拍・体重・体脂肪率を測定し、トレーニングカードに記録します。
毎月1回保健師、運動指導士が書面又はお会いしてアドバイスさせていただきます。必要に応じて健康スポーツ医が指導します。……………4月～9月
(10月～3月)

体力測定を行い、4月(10月)と比較し効果の測定をします。……………9月
(3月)

健康づくりにかかる費用は無料です。参加は自由ですがご自身の健康度のチェックになりますので是非ご参加ください。

社会保険健康センター一覧

1. ペアーレ函館(北海道函館市)
2. ペアーレ関(岩手県一関市)
3. ペアーレ石巻(宮城県石巻市)
4. ペアーレ大曲(秋田県大曲市)
5. ペアーレ酒田(山形県酒田市)
6. ペアーレ郡山(福島県郡山市)
7. ペアーレ土浦(茨城県土浦市)
8. ペアーレ栃木(栃木県栃木市)
9. ペアーレ桐生(群馬県桐生市)
10. ペアーレ入間(埼玉県入間市)
11. ペアーレ新宿(東京都新宿区)
12. ペアーレ藤沢(神奈川県藤沢市)
13. ペアーレ上越(新潟県上越市)
14. ペアーレ高岡(富山県高岡市)
15. ペアーレ金沢(石川県金沢市)
16. ペアーレ武生(福井県武生市)
17. ペアーレ甲府(山梨県甲府市)
18. ペアーレ伊那(長野県伊那市)
19. ペアーレ大垣(岐阜県大垣市)
20. ペアーレ富士(静岡県富士市)
21. ペアーレ安城(愛知県安城市)
22. ペアーレ名古屋(愛知県名古屋市)
23. ペアーレ四日市(三重県四日市市)
24. ペアーレ彦根(滋賀県彦根市)
25. ペアーレ宇治(京都府宇治市)
26. ペアーレ高槻(大阪府高槻市)
27. ペアーレ神戸(兵庫県神戸市)
28. ペアーレ姫路(兵庫県姫路市)
29. ペアーレ生駒(奈良県生駒市)
30. ペアーレ田辺(和歌山県田辺市)
31. ペアーレ米子(鳥取県米子市)
32. ペアーレ浜田(島根県浜田市)
33. ペアーレ倉敷(岡山県倉敷市)
34. ペアーレ呉(広島県呉市)
35. ペアーレ下関(山口県下関市)
36. ペアーレ徳島(徳島県徳島市)
37. ペアーレ丸亀(香川県丸亀市)
38. ペアーレ北九州(福岡県北九州市)
39. ペアーレ佐世保(長崎県佐世保市)
40. ペアーレ日田(大分県日田市)
41. ペアーレ延岡(宮崎県延岡市)
42. ペアーレ鹿児島(鹿児島県鹿児島市)
43. ペアーレ沖縄(沖縄県沖縄市)



『健康増進施設』認定申請窓口

財団法人 日本健康スポーツ連盟

〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町2-9-11 東酒類ビル5F

TEL 03-5256-1861 FAX 03-5256-1865 <http://www.sporen.or.jp/>



Peare
KIRYU

桐生社会保険健康センター
ペアーレ桐生

〒376-0046 群馬県桐生市宮前町2-12 (JR桐生駅北口前 徒歩1分)
TEL 0277-44-8000 FAX 0277-44-8500
<http://www.peare.or.jp/peare/f/kiryuu/O1.html>

プールの除菌における電解次亜塩素酸の効果について

SANYO
三洋電機株式会社

I はじめに

三洋電機では、十数年前からカップ式の自動販売機内で水道水をいったんタンクに貯め、そのタンクに貯められた水道水を電気分解して浄化・除菌するという技術を持っていました。その技術を基礎に、1999年からプール水、スーパー銭湯や老人保健施設でのお風呂の水の除菌・浄化を行う「アクアクリンシステム」の開発を進め、2001年6月より正式に販売を開始しました。本稿では、アクアクリンシステムの電気分解の原理とそのメリットについて、ご紹介させていただきます。

II 電気分解の原理

アクアクリンシステムは、水を電気分解して生成される電解次亜塩素酸の働きで、プールや温浴施設の水やお湯の中の有機物を分解し、細菌を破壊することで浄化・除菌する装置です。この浄化・除菌効果は、水(H₂O)に少量の食塩(NaCl)を加え電極に通電すると電気分解が起こって生成される電解次亜塩素酸＝電解水の効果によるものです。

アクアクリンシステムでは、無隔膜方式を採用しています。

無隔膜の電解槽の中では

水(H₂O)は、水素イオン(H⁺) + 水酸化物イオン(OH⁻)…〔式1〕

食塩(NaCl)は、ナトリウムイオン(Na⁺) + 塩素イオン(Cl⁻)…〔式2〕

の状態で存在しています。

この水溶液に電気をかけると、陽極(+)側では、以下のように反応します。

- ① 水が電解され酸素ガス(O₂)が発生します。…〔式3〕
- ② 食塩(NaCl)の電離により、塩素イオン(Cl⁻)が発生します。…〔式4〕
- ③ この塩素イオン(Cl⁻)が放電し、塩素ガス(Cl₂)が発生します。…〔式5〕
- ④ この塩素ガスは、水に溶解して塩素水になり、徐々に水と化学反応を起こし、強い酸化力を持つ次亜塩素酸(HClO)と塩化水素(HCl)が生成されます。…〔式6〕
- ⑤ 塩化水素(HCl)は、さらにH⁺とCl⁻に分離し、水素ガスや塩素ガスが生成される源として利用されます。

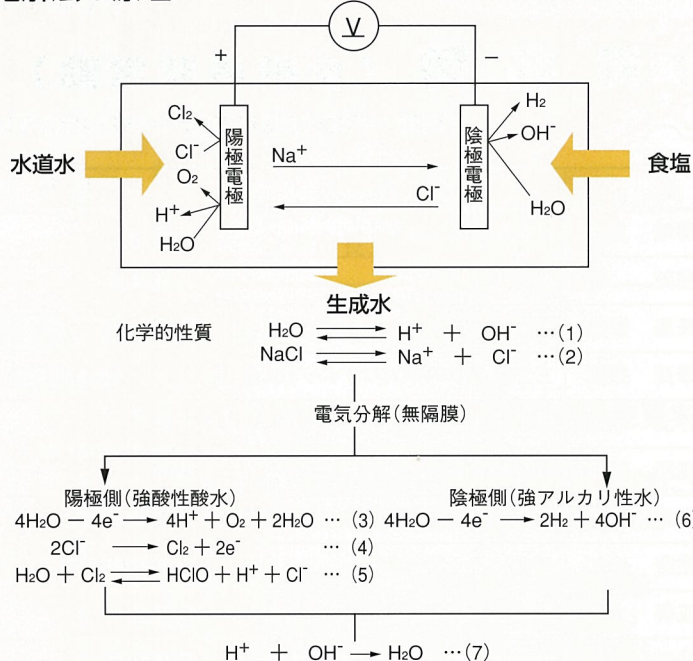
一方、陰極(-)側では、以下のように反応します。

- ⑥ 食塩(NaCl)成分の陰極に誘導されたNa⁺は放電せず、これよりも放電しやすいH⁺が先に放電し、水素ガス(H₂)を生成します。…〔式6〕

以上のように、陽極、陰極のそれぞれで電気分解反応が起こり、

- ⑦ 最後に残ったH⁺とOH⁻は、再度反応して水(H₂O)に戻ります。…〔式7〕

無隔膜電解法の原理



III 電解次亜塩素酸による消毒のメリット

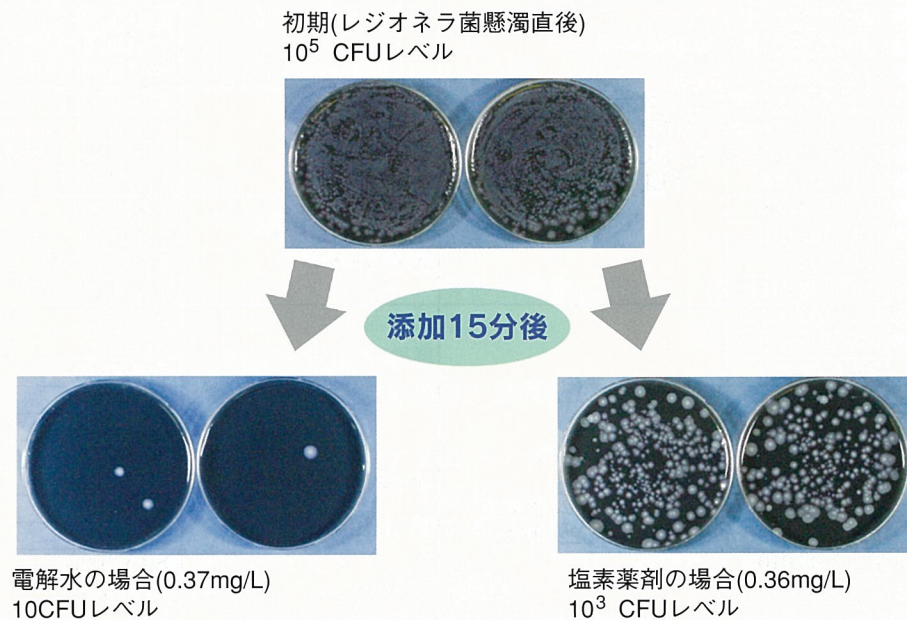
従来の次亜塩素酸ナトリウム等の塩素系薬剤を利用する場合に比べ、電解次亜塩素酸による水の浄化・除菌を行うことで、下記のようなメリットがあります。

(1) 強力な浄化・除菌力を発揮

電気分解で発生する次亜塩素酸は、従来の塩素系薬剤に比べて酸化性が高く、除菌力に優れる、という特長を持っています。また、12%濃度の次亜塩素酸薬剤に比べて1/15～1/20の濃度の電解次亜塩素酸を多量に注入するため、水中に素早く拡散し高い除菌効果を発揮します。

以下の実験は、同じようにレジオネラ菌を培養したシャーレに塩素系薬剤と電解次亜塩素酸を加え、同等の濃度に保って15分後の除菌効果を比較したものです。

電解水と塩素薬剤の比較実験



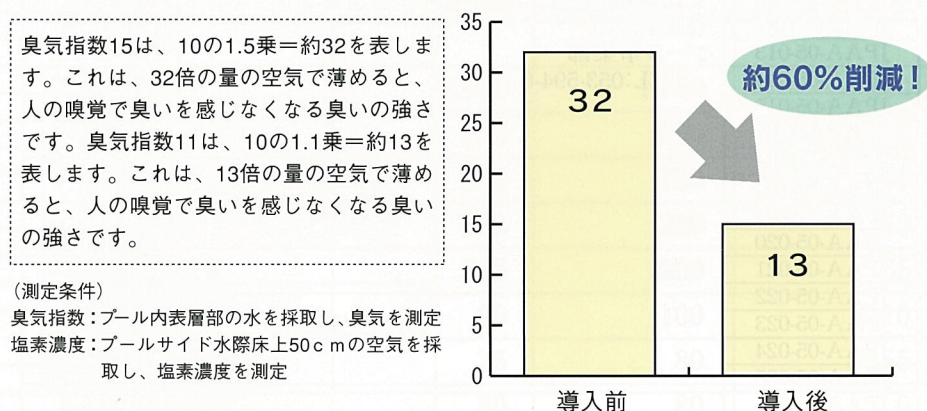
塩素系薬剤では多くの菌が生息しているのに対し、電解次亜塩素酸を加えたシャーレでは検出限界である10CFU未満まで除菌されているのがよくわかります。

(2) 塩素臭を大幅削減。肌や髪への刺激や建物へのダメージも軽減

電解次亜塩素酸はプールの塩素臭の元となる「結合塩素」を分解し、塩素臭を元から防ぎます。また、高純度の食塩から生成される電解次亜塩素酸は新鮮で不純物が少ないため、塩素臭の削減をはじめ遊泳者の髪の毛のパサつきや肌へのピリピリ感が少ない、と好評をいただいています。

また、残留塩素濃度センサーによる制御によって、残留塩素濃度を一定に保つことで、空気中への塩素の立ち上がりを防ぎ、塩素臭の削減だけでなく施設の躯体や内装に与えるダメージも軽減することができます。

塩素臭の低減事例



<測定結果>

	導入前	導入後	
臭気指数	15	11	臭気判定士(国家資格)による判定
空气中残留塩素濃度指数	0.04	0.02	試薬による判定

(3) 薬剤管理の手間を削減

従来の塩素系薬剤は手に触れると皮膚が荒れ、目に入ると角膜が侵されたり、人為的なミスで酸性溶液との混合により有毒な塩素ガスが発生する事故が絶えないなど、取扱いに十分な注意が必要です。また、時間とともに有効塩素濃度も低下してしまうため、長期保存が困難です。アクアクリンシステムで通常管理いただくのは純度の高い食塩なので、取扱いも簡単で、時間や周囲の環境による品質劣化もほとんどありません。

IV おわりに

アクアクリンシステムは発売から丸5年が経過し、お風呂やプールを中心に納入実績として全国で600台以上を販売し、多くの方にご愛用いただいています。塩素系薬剤の使用に対してお悩みを持つプール・お風呂は依然として多く、安全性、快適性へのニーズは高まる一方です。当社は培った電解技術をもとに、より多くの満足を提供していきたいと考えています。

参考文献：レジオネラ防止対策研究会「レジオネラ対策・こうすれば安心」泉書房 2003

(社) 日本プールアメニティ施設協会・認定機器一覧表

平成17年11月24日現在

新認定番号	会社名	型 式	型 番
JPAA-01-001	富士電機システムズ(株) (連絡窓口) 水環境推進部営業グループ TEL:03-5435-7061	プール水浄化用オゾンナイザ	POL-250N
JPAA-01-002			POL-450N
JPAA-01-003			POL-600N
JPAA-01-004			POL-1200N
JPAA-02-001	ミウラ化学装置(株) (連絡窓口) 東京支店 TEL:03-3916-1200	可逆式珪藻土ろ過 A-1フィルター	PA40-204AT
JPAA-02-002			PA60-206AT
JPAA-02-003			PA100-210AT
JPAA-02-004			PA150-215AT
JPAA-02-005		砂ろ過装置	MS-II SAT
JPAA-02-006			MS-III SAT
JPAA-02-007			MS-IV SAT
JPAA-02-008			MS-V SAT
JPAA-02-009		可逆式珪藻土ろ過 A-1フィルター	PA40-204
JPAA-02-010			PA60-206
JPAA-02-011			PA12-202AT
JPAA-02-012			PA24-203AT
JPAA-03-001	住友精密工業(株) (連絡窓口) 水環境システム事業室 TEL:03-6220-0725	オゾン反応処理装置	SPA-5A
JPAA-03-002			SPA-7A
JPAA-03-003			SPA-10A
JPAA-03-004			SPA-13A
JPAA-03-005			SPA-17A
JPAA-03-006			SPA-27A
JPAA-03-007			SPA-37A
JPAA-03-008			SPA-50A
JPAA-03-009			SPA-80A
JPAA-03-010			SPA-100A
JPAA-03-011			SPA-140A
JPAA-03-012			SPA-17AOP
JPAA-03-013			SPA-27AOP
JPAA-03-014			SPA-37AOP
JPAA-04-001	千代田工販(株) (連絡窓口) 環境事業統括部 TEL:03-3575-0573	紫外線殺菌浄化装置 フロンライザ	FDL-6
JPAA-04-002			FDL-10
JPAA-04-003			FDL-12
JPAA-04-004			FDL-14
JPAA-04-005			FDL-16
JPAA-04-006			FDH-8
JPAA-04-007			FDH-12
JPAA-04-008			FDH-16
JPAA-04-009			FDH-22
JPAA-04-010			FDH-26
JPAA-05-001	ヤマハ発動機(株) (連絡窓口) プール事業部 TEL:053-594-6512	全自動砂ろ過装置	YSF-10T
JPAA-05-002			YSF-20T
JPAA-05-003			YSF-40T
JPAA-05-004			YSF-60T
JPAA-05-005			YSF-80T
JPAA-05-006			YSF-100T
JPAA-05-007			YSF-120T
JPAA-05-008			PSI-60T
JPAA-05-009			PSI-80T
JPAA-05-010			PSI-100T
JPAA-05-011			PSI-120T
JPAA-05-012			YSF-5T-A
JPAA-05-013			YSF-10T-A
JPAA-05-014			YSF-15T-A
JPAA-05-015			YSF-20T-A
JPAA-05-016			YSF-30T-A
JPAA-05-017			YSF-40T-A
JPAA-05-018			YSF-60T-A
JPAA-05-019			YSF-80T-A
JPAA-05-020			YSF-100T-A
JPAA-05-021			YSF-120T-A
JPAA-05-022		手動砂ろ過装置	YSF-5T-M
JPAA-05-023			YSF-10T-M
JPAA-05-024			YSF-15T-M
JPAA-05-025			YSF-20T-M
JPAA-06-001	栗田工業(株) (連絡窓口) 機器メンテ営業二課 TEL:03-3347-3547	全自動砂式プール循環 浄化装置	KPF-LA-2
JPAA-06-002			KPF-LA-3
JPAA-06-003			KPF-LA-4
JPAA-06-004			KPF-LA-5
JPAA-06-005			KPF-Lb-2
JPAA-06-006			KPF-Lb-3
JPAA-06-007			KPF-Lb-4
JPAA-06-008			KPF-Lb-5
JPAA-07-001	三菱電機プラントエンジニアリング(株) (連絡窓口) 社会システム営業第二課 TEL:03-5827-6326	オゾンプール浄化装置	MP20T-NPV
JPAA-07-002			MP40T-NPV
JPAA-07-003			MP60T-NPV
JPAA-08-001	三菱レイヨン・エンジニアリング(株) (連絡窓口) 水環境事業部 アクア環境システム部 TEL:03-5495-3287	膜処理装置	SAS2401
JPAA-08-002			SAS2402
JPAA-08-003			SAS2403
JPAA-08-004			SAS2404
JPAA-08-005			SAS2405
JPAA-08-006			SAS2406
JPAA-08-007			SAS2408
JPAA-08-008			SAS2410
JPAA-09-001	日機装エイコー(株) (連絡窓口) エンジニアリンググループ TEL:042-390-6540	砂ろ過装置	SFF-11AP
JPAA-09-002			SFF-14AP
JPAA-09-003			SFF-16AP
JPAA-09-004			SFF-19AP
JPAA-09-005			SFF-21AP
JPAA-09-006			SFN-19AP
JPAA-09-007			5D-ST16AP
JPAA-10-001	(株)三協 (連絡窓口) 技術部設計課 TEL:0568-28-1771	自動砂式循環ろ過装置	NB-5
JPAA-10-002			NB-6
JPAA-10-003			NB-7
JPAA-10-004			NB-8
JPAA-10-005			NB-9
JPAA-10-006			NS-1
JPAA-10-007			NS-2
JPAA-10-008			NS-3
JPAA-10-009			NS-4

新認定番号	会社名	型 式	型 番
JPAA-11-001	三洋電機(株) (連絡窓口) 営業開発本部アクア営業部 TEL:03-5803-3555	アクアクリーンシステム (電気分解式次亜塩素酸 ナトリウム生成装置)	ACS-P1010
JPAA-11-002			ACS-P510
JPAA-11-003			ACS-P310
JPAA-11-004			ACS-PB1010
JPAA-11-005			ACS-FB3010
JPAA-11-006			ACS-FB610
JPAA-11-007			ACS-HB210
JPAA-11-008			ACS-JB450S
JPAA-11-009			ACS-B400
JPAA-11-010			ACS-BG600
JPAA-11-011			ACS-B600
JPAA-11-012			ACS-B200
JPAA-11-013			ACS-B50

正 会 員 名 簿

(平成17年11月24日現在)

会社名	窓口	電話番号	
株式会社アスカ	営業部	06 (6363) 4121	ろ過
株式会社東工業	営業部	03 (3765) 5021	ろ過
協和株式会社	営業部	052 (794) 2777	ろ過
栗田工業株式会社	機器メンテ営業二課	03 (3347) 3547	ろ過
財団法人厚生年金事業振興団	総務課	03 (3354) 8881	事業
株式会社ササクラ	水処理技術部	06 (6473) 2138	オゾン
株式会社三協	技術部設計課	0568 (28) 1771	ろ過
株式会社三進ろ過工業	東京営業所	03 (3945) 6541	ろ過
三洋電機株式会社	営業開発本部アクア営業部	03 (5803) 3555	電解
シンコースポーツ株式会社	事業管理部	03 (3833) 6677	管理運営
住友精密工業株式会社	環境システム事業部	03 (6220) 0725	オゾン
千代田工販株式会社	UVシステム事業部	03 (3575) 0573	紫外線
東西化学産業株式会社	営業推進本部	03 (5566) 0601	ろ過
日機装エイコー株式会社	エンジニアリンググループ	042 (390) 6540	ろ過
日本フィルコン株式会社	工業製品事業部水処理製品部	04 (2935) 1110	ろ過
フジカ濾水機株式会社	営業部	03 (3988) 7106	ろ過
富士電機システムズ株式会社	水環境推進部営業グループ	03 (5435) 7061	オゾン
ミウラ化学装置株式会社	東京支店	03 (3916) 1200	ろ過
三菱電機プラントエンジニアリング株式会社	社会システム営業第二課	03 (5827) 6326	オゾン
三菱レイヨン・エンジニアリング株式会社	アクア環境システム部	03 (5495) 3287	膜
ヤマハ発動機株式会社	プール事業部	053 (592) 6512	製造
理水化学株式会社	営業本部	06 (6365) 0691	ろ過

(五十音順)

役 員 名 簿 (全役員非常勤)

(期間:平成16年9月20日~平成18年9月19日)

役 職	氏 名	会 社 名	所 属・役 職
会長	野崎 貞彦	日本大学医学部	教授
副会長	濱田 昭	昭和大学	名誉教授
専務理事	長島 弘典	株式会社三技協	顧問
常任理事	華岡 秀樹	三菱電機プラントエンジニアリング株式会社	社会システム営業部 部長
理事	井上 宇市	井上宇市設備研究所	所長
理事	笹野 英雄	日本大学薬学部薬学研究所	顧問
理事	木原光知子	ケイアンドエム・インターナショナル株式会社	代表取締役社長
理事	佐野 武仁	昭和女子大学大学院	生活機構研究科 教授
理事	玉利 齊	財団法人日本健康スポーツ連盟	理事長
理事	松田 朗	財団法人厚生年金事業振興団	常務理事
理事	大井田 隆	日本大学医学部	社会医学講座公衆衛生学部門 教授
理事	早川 隆志	栗田工業株式会社	メンテナンス事業部長
理事	安居 栄蔵	住友精密工業株式会社	取締役
理事	細川 公平	千代田工販株式会社	UVシステム事業部長
理事	市川 實	日本フィルコン株式会社	水処理製品事業部 部長
理事	小牧 裕志	富士電機システムズ株式会社	執行役員常務
理事	三浦 紀彦	ミウラ化学装置株式会社	専務取締役東京支店長
理事	石井 新一	三菱レイヨン・エンジニアリング株式会社	アクアシステム部長
理事	石川 良一	全国市長会	社会文教委員会委員長
監事	青木 章太	青木会計事務所	所長
監事	矢倉 裕	ヤマハ発動機株式会社	プール事業部長